

令和 7 年度 仙台 BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業
自治体提供課題詳細

タイトル	航空写真を用いた太陽光発電施設の状況把握と 災害発生リスクの抽出
提供自治体名	仙台市
掲載期限	令和 7 年 8 月 29 日まで

1. 解決したい課題の背景

- 市内に設置されている太陽光発電施設について、設置状況や年度ごとの増減を 1 件ずつ航空写真で確認しており、作業が非効率である。
- また、太陽光発電設備の設置方法（屋根置き型／地上設置型）も航空写真で 1 件ずつ確認しており、作業が非効率である。
- 屋根置き型太陽光発電設備の場合、エリアごと・築年数ごとの分布状況を把握するのが困難である。
- 市内の太陽光発電施設の実態調査を行っており、災害発生リスクが高い施設などを優先的に調査対象としたいが、該当施設の特定が困難である。
- 現在、土砂災害警戒区域などの高リスク施設の把握は、府内 GIS の航空写真により、土砂災害警戒区域などのレイヤーを重ね、地図を一つ一つ確認する方法しかない状況にある。
- 太陽光発電施設の確認を的確かつ効率的に行わないと、不適切な維持管理による事故等や放置された施設が適切に解体・撤去が行われないといった問題が発生する可能性がある。

2. 実現したいこと

- 市内の太陽光発電施設について、施設の増減・太陽光の普及率・導入量・エリア分布・地上設置型太陽光の手続き漏れ・設置状況（設置時期や所有者、施設の管理状況など）などのデータを集約し、各種業務に活用したい。
- 太陽光発電施設の設置状況と土砂災害や有害物質流出のリスクが高い地形データを照らし合わせ、実態調査における優先順位を設定したい。

3. 想定している技術（こだわらない場合はその旨を記載）

- 担当のデスク上で、航空写真をベースとしたシステムを常時閲覧可能とし、課題解決に必要なデータなどをエクスポート、インポートできるようにしたい。
※技術にはこだわりません。

【抽出内容（想定）】

FIT・FIP制度を活用の有無、設置時期、導入量、普及率、エリア分布の分析、所有者、施設の管理状況、地上・屋根、発電出力、事業面積など

4. 希望する実証時期・実証場所（現時点の想定）

- 令和7年度中、仙台市会議室での実証を希望する。

5. その他制約事項・補足事項（関連ホームページ等）

- 仙台市太陽光条例のHP
(<https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/machi/kankyochozen/kurashi/taiyokojorei/taiyokojorei.html>)
- 毎年または数年に一度、航空写真の更新は必要と思われる。
- 他自治体においても、FIT・FIP制度によらない施設（非FIT施設）の把握に苦慮している。